

環境からの教育



教育随想

名古屋市立大学

名誉教授 瀬口 哲夫 氏

まちづくりや都市計画の分野で、「まちは教材である。まちは学校である」ということが言われる。これは実際のまちから、多くのことを学べることを示唆するもので、計画者の側からは、そのきっかけになるものを保全し、仕組んでおくことを意味する。こうしたことは、環境からの教育ということができる。

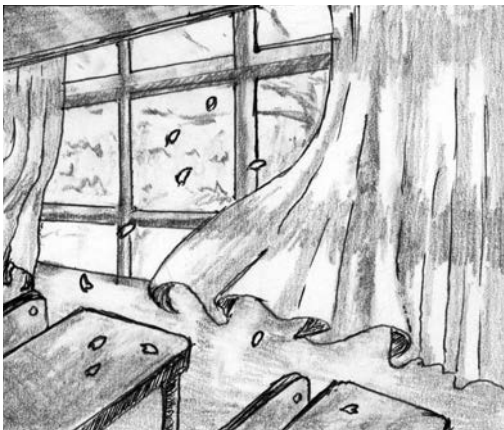
筆者は、岡崎市の歴史的風致を向上するための歴史まちづくり協議会の委員を務めているので、東海道沿いの地区を例に、教育との関連について述べてみたい。

例えば、藤川町は、江戸時代の藤川宿をルートとし、住民による歴史まちづくり活動が盛んなところである。宿の出入りに標柱（棒鼻）、街道沿いに複数の常夜燈など様々なものがある。少し歩けば、江戸時代の藤川宿の長さ（九町二十間≒九三〇m）や空間スケールを実感することができる。当時の街灯といえる秋葉山常夜燈は、防火を願う秋葉

山信仰を教えてくれる。藤川宿東側の大平町の一里塚と、西側の本宿町の一里塚の石柱により、一里（約四km）の長さや往時の交通施設を実感できる。市内の東海道を歩けば、いつでも江戸時代にタイムスリップできるし、教科書にない歴史学習をすることができる。

また、東海道沿いの矢作町と藤川町には十王堂（閻魔堂）があり、本宿町には十王堂の跡地に建つ栄集会所の玄関の間に十王像が安置されている。岡崎市役所のある十王町は、以前、ここに十王堂があり、これが町名になった。

子供の頃、祖父に連れられての社寺参りの途中にあつた閻魔堂（筆者の地元ではこう呼んでいた。）を思い出す。その前を通る度に、怖そうな閻魔像を見ながら、「嘘をつくと閻魔様に舌を抜かれるので、嘘をついてはいけない」と教えられたが、子供心に怖くて、今でも教訓として、心に染み込んでいる。岡崎の子供た



（せぐち てつお）



令和4年3月1日

3月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想……………	1
名古屋市立大学 名誉教授 瀬口 哲夫 氏	
この人に聞く……………	2
自家焙煎珈琲豆専門店 店主 小野 浩司 氏	
羅 針 盤……………	2
英語科指導員 梅岡 知充	
ふれあい……………	3
葵中学校 教諭 矢沢 敬介	
特 集……………	4
1年のあゆみ	
お知らせ……………	6
フォト・ヒストリー…	8
がんばり山(昭和49年)	
この本を……………	8

ちも、通学路の途中にある十王堂の閻魔像を見ながら、話を聞くことで、知らず知らずの内に、道徳観を身に付けるに違いない。

まち中で、歴史的風致のある空間に遭遇し、それらと対話することで、学校の学習とは別の形での歴史教育や道徳教育などを受けることができる。



至福の時間

自家焙煎珈琲豆専門店

店主 小野 浩司氏

梅園小学校北側の伊賀川左岸を西に向かつていく。住宅街の中にひっそりとした佇まいの店を見つけた。中に入ると、豊かな香りとともに、笑顔の夫婦が迎えてくれる。この店は、珈琲豆専門店である。しかし、珈琲を飲むことはできない。店に小さな看板しかないため、気にしていないと通り過ぎてしまいそうだが、客足は絶えない。多くの方に愛される珈琲店の店主である小野さんに話を聞きたくなった。

珈琲店を開いたきっかけは

中学生の時に、近所に珈琲店があり、父に連れられてよく飲みに行きました。そこでコロンビア、ブラジル、マンデリンなど様々な種類の珈琲を飲み、珈琲が好きになりました。三十二

歳の時に当時の仕事で転勤しました。転勤先で、珈琲が大好きな店主が営んでいる小さな珈琲店に出会いました。その方のように人生を楽しみながら、珈琲で生計を立てていきたいと思い、この店を開きました。

大切にしていることは

まず「豆選び」です。質・後味がよく、甘みのある珈琲豆を求め、二十年程前から珈琲豆の産地へ行っています。そのすべてをどうしても自分の目で確かめたいと思うので、時には、治安の悪い国にも行きます。産地では、どういった農園で、どのように栽培しているのかをみまわす。また、栽培している人とたくさん話し、コーヒーの第一工程を担う方々と触れ合います。その上で何十種類もの珈琲豆をテイスティングします。これだと思える豆に出会うと大きな喜びがあります。

もう一つは「焙煎」です。現在使っている焙煎機は四台目となります。焙煎機によって珈琲豆の味も大きく変わります。もちろん、焙煎の温度、時間、豆の量などを考えて焙煎機を使いこなす技術も必要です。妥協せず、よい豆を生かすよい方法を求めて、日々焙煎機に向かっています。

お客様のことを考えながら、納得のいく豆を選び、その豆の焙煎をしている時は、至福の時間です。

店で珈琲を出さない理由は

店を開く際に、夫婦二人でできる範囲にしようと決めました。珈琲を飲む場所を作ると、焙煎だけでなく、珈琲の抽出や接客などの仕事が増えてしまいます。いつかは始めてもいいかと思いましたが、手一杯で難しかったです。また、広告活動をあまりしていません。お客様は、人づてがきっかけの方が多いです。珈琲好きのお客様と珈琲に関するお話をするのも至福の時間です。このように来てくださったお客様とは、長い付き合い合いとなっています。

これから取り組みたいことは

私は、多くの人に珈琲をおいしく飲んでほしいと思っています。朝、珈琲を飲んで、幸せな気持ちで一日を始めてほしいです。そのためにも、今扱っている珈琲豆を吟味し、品質の高い豆に絞り、その上で、焙煎技術を更に究めていきたいと思えます。この店の珈琲豆を求めてくださるお客様に対して、作り手として今できることの一歩を提供したいと思っています。今後も、お客様との時間とつながりを大切にしていきます。



氏名 おの ひろし
生年月日 昭和三十五年五月二日
住所 岡崎市稲熊町



心豊かなコミュニケーションを

実現する授業

英語科指導員 梅岡 知充

心豊かなコミュニケーションを生む鍵は、積極的に相手に反応し、互いに相手の考えを知りたくなる関係性を育てることである。そのために、授業では生徒が本当に話したいと思う話題や場面を設定するとともに、適切な教師支援を行うことが大切である。

A 教諭は、中学三年生で「制服の是非」について、英語でコミュニケーションを図る話題として、デイバーの授業を行った。この話題は生徒にとって関心が高く、デイバー形式にすることでより相手を意識したやり取りになることが期待できる。

生徒は、意欲的に自分の考えを英文にまとめて本時を迎えた。A 教諭は「I agree with you」「I don't think so.」などの反応の表現例をプリントにして配付した。反応する表現を音読、確認した生徒は、デイバー



本物のリーダーに

葵中学校

教諭 矢沢 敬介

「被災地支援活動を活性化させた」と公約を述べ、生徒会役員に就任したAさん。自ら進んで立候補した前向きな生徒だ。だが周りを気にし、強く自分を出せない面もあった。Aさんには、もつと自分に自信をもつてほしいと思っていた。

被災地支援のため、本校生徒会は、月一回の資源回収と災害時の募金を行ってきた。「みんなが参加する活動にしたい」Aさんはそう言いながら、これまでと同じ活動を続けようとした。それでは変化は期待できない。そこで私は、「前と同じでは何も変わらない。どうしたら本当に参加したくなるのか」と投げかけた。直面した課題に真剣に向き合うことが、Aさんの成長につながると思じたからだ。Aさんは「考えてきます」とだけ、つぶやくように答えた。数日後、Aさんはメモを手にして、

私のところへやって来た。

「まず、被災地の様子を知って、支援の必要性を感じるのが大事です。あと募金がどう使われているかわかりません。自分の参加が支援につながる実感できることが必要です。」

しかし困惑した顔でこう続けた。「でも、正直どんな活動をしたらいいのか、思いつきません。」

Aさんが懸命に考えたことは伝わってきた。問題点を改善し、新たな活動につなげたいという思いも感じました。納得する形でやり遂げてほしいと思った。そこで、

「いろいろな支援の方法があるよ。他の学校の活動も調べてみてはどうですか。」

と提案した。するとAさんは、「調べてみます。考えてきます。」今度は、はっきりと返事をした。

しばらくして、Aさんは、被災地支援バザーがしたいと言いに来た。

「被災地の商品を買うバザーなら、その地域のことを知ってもらえます。品物も手に入るのので、協力するよさも感じられます。」

Aさんの思い続けた「参加したくなる活動」が具体的に動き始めた。

準備が始まると、Aさんは、周りに自分の意見を積極的に伝えるようになった。「この商品にしよう」「地域の人も協力してもらえないか

な」と、Aさんは支援バザー成功に向け、だれよりもアイデアを出した。その一生懸命さに勢いづけられ、他の生徒会役員も一丸となって準備を進めた。

そして文化祭の日、被災地支援バザーが実現した。

「ありがとうございます。」

爽やかな声でお礼を言い、購入者に商品を手渡すAさん。周りに指示を出しながら働く姿が頼もしかった。

バザー後、支援先から届いたお礼状を読むAさんに「大成功だったね。どうだった」と尋ねてみた。

「たくさんの方が参加してくれて、すごく嬉しかったです。大変だったけど、本当にやってよかったです。」

Aさんの言葉を聞き、任せてよかったと思えた。充実感に溢れた晴れやかな顔。Aさんの笑顔には、本物のリーダーと呼ぶにふさわしい力強さが表れていた。



トへの意欲をますます高めた様子であった。

ところが仲間同士の対話になると、多くの生徒が相手に反応できずにいた。制服賛成派の生徒Bが「You don't have to choose clothes.」と述べた際も、誰も反応できなかった。A教諭は活動を止め、全体に「どのような表現で相手に反論すればよいかな」と問いかけた。ある生徒が「相手のどの発言に対する反論なのかをはっきりさせるべきです」と言った。A教諭は「そうだね。そのときYou said が使えるね」と、先程のプリントを指し示して具体的な反応の仕方を確認した。

再度意見を述べたBに対して、数秒の沈黙後、生徒Cが口を開いた。Cは「You said you don't have to choose clothes. That's right.」とBの意見を受け止めた。そして「But」に続けて制服反対派の意見を述べた。反論されたにもかかわらずBから笑顔がこぼれた。これは、自分の意見が通じた喜びの笑顔である。

相手に自分の思いが伝わる。これこそが語学を学ぶ喜びである。互いの発言を温かく聴き合う関係性を育み、英語で主体的にコミュニケーションを図ろうとする力を育てることが英語科における教師の役割である。



▲第88回NHK全国学校音楽コンクール 東海北陸ブロック 銀賞 三島小



▲令和3年度全国中学生カヌー大会 新香山中



▲第29回全国中学校駅伝大会 女子の部7位 矢作北中

1年のあゆみ

8・5・17	8・5	8・5	7・31	7・28	7・27	7・22	7・20	7・11	7・11	7・4	7・4	7・1	6・29	5・26	5・26	5・15	4・17	4・15	4・7	4・6	4・1
第43回東海中学校総合体育大会(8・5・17)	愛知県自然観察指導員連絡協議会賞	愛知県知事賞	愛知県知事賞	愛知県知事賞	愛知県知事賞	愛知県知事賞	愛知県知事賞	愛知県知事賞	愛知県知事賞	愛知県知事賞	愛知県知事賞	愛知県知事賞	愛知県知事賞	愛知県知事賞	愛知県知事賞	愛知県知事賞	愛知県知事賞	愛知県知事賞	愛知県知事賞	愛知県知事賞	愛知県知事賞
ソフトボール男子	ソフトボール	ソフトボール	ソフトボール	ソフトボール	ソフトボール	ソフトボール	ソフトボール	ソフトボール	ソフトボール	ソフトボール	ソフトボール	ソフトボール	ソフトボール	ソフトボール	ソフトボール	ソフトボール	ソフトボール	ソフトボール	ソフトボール	ソフトボール	ソフトボール
3位(全国大会出場)	3位(全国大会出場)	3位(全国大会出場)	3位(全国大会出場)	3位(全国大会出場)	3位(全国大会出場)	3位(全国大会出場)	3位(全国大会出場)	3位(全国大会出場)	3位(全国大会出場)	3位(全国大会出場)	3位(全国大会出場)	3位(全国大会出場)	3位(全国大会出場)	3位(全国大会出場)	3位(全国大会出場)	3位(全国大会出場)	3位(全国大会出場)	3位(全国大会出場)	3位(全国大会出場)	3位(全国大会出場)	3位(全国大会出場)
城北中	城北中	城北中	城北中	城北中	城北中	城北中	城北中	城北中	城北中	城北中	城北中	城北中	城北中	城北中	城北中	城北中	城北中	城北中	城北中	城北中	城北中

9・25・26	9・19	9・12	9・11	9・4	9・4	8・31	8・28	8・27	8・25	8・23	8・22	8・21	8・20	8・17	8・17	8・7	8・6	8・6	8・6	8・6	8・6
第52回中部日本ジュニア水泳選手権大会	第58回吹奏楽(中止)	第88回NHK全国学校音楽コンクール	第88回NHK全国学校音楽コンクール	第42回愛知県ジュニアオリンピック陸上競技大会	女子三〇〇mH	女子三〇〇mH	女子三〇〇mH	女子三〇〇mH	女子三〇〇mH	女子三〇〇mH	女子三〇〇mH	女子三〇〇mH	女子三〇〇mH	女子三〇〇mH	女子三〇〇mH	女子三〇〇mH	女子三〇〇mH	女子三〇〇mH	女子三〇〇mH	女子三〇〇mH	女子三〇〇mH
男子小学生の部	男子小学生の部	男子小学生の部	男子小学生の部	男子小学生の部	男子小学生の部	男子小学生の部	男子小学生の部	男子小学生の部	男子小学生の部	男子小学生の部	男子小学生の部	男子小学生の部	男子小学生の部	男子小学生の部	男子小学生の部	男子小学生の部	男子小学生の部	男子小学生の部	男子小学生の部	男子小学生の部	男子小学生の部
2位(大会新記録)	2位(大会新記録)	2位(大会新記録)	2位(大会新記録)	2位(大会新記録)	2位(大会新記録)	2位(大会新記録)	2位(大会新記録)	2位(大会新記録)	2位(大会新記録)	2位(大会新記録)	2位(大会新記録)	2位(大会新記録)	2位(大会新記録)	2位(大会新記録)	2位(大会新記録)	2位(大会新記録)	2位(大会新記録)	2位(大会新記録)	2位(大会新記録)	2位(大会新記録)	2位(大会新記録)
羽根小	羽根小	羽根小	羽根小	羽根小	羽根小	羽根小	羽根小	羽根小	羽根小	羽根小	羽根小	羽根小	羽根小	羽根小	羽根小	羽根小	羽根小	羽根小	羽根小	羽根小	羽根小



▲第35回東海マーチングコンテスト
中学校パレード部門 金賞 南中



▲第43回全日本中学校ソフトボール大会
城北中



▲第43回東海中学校総合体育大会
バレーボール男子の部 3位 六ツ美中



▲第55回全国野生生物保護活動実績発表大会
奨励賞 生平小

11 13	11 13	11 12	11 10	11 9	11 7	11 5	10 31	10 30	10 30	10 28	10 27	10 24	10 23	10 20	10 18	10 16	10 13	10 10	10 9	10 9	10 9	10 3	10 2	10 2	9 30	9 29	9 26	
区間賞男子	区間賞男子	区間賞男子	区間賞男子	区間賞男子	男子の部	第49回岡崎のハーモニー演奏収録(市民会館)	第70回愛知県中学校駅伝大会	第1回サイエンスセミナー・オンラインVer.(市内中学生)	フラワー・プラボー・コンクール付帯事業コンクール 花壇を描いた写真コンクール 学校花壇設計図コンクール 愛知県知事賞 形勢小	愛知県知事賞 形勢小	愛知県知事賞 形勢小	愛知県知事賞 形勢小	愛知県知事賞 形勢小	愛知県知事賞 形勢小	愛知県知事賞 形勢小	愛知県知事賞 形勢小	愛知県知事賞 形勢小	愛知県知事賞 形勢小	愛知県知事賞 形勢小	愛知県知事賞 形勢小	愛知県知事賞 形勢小	愛知県知事賞 形勢小	愛知県知事賞 形勢小	愛知県知事賞 形勢小	愛知県知事賞 形勢小	愛知県知事賞 形勢小	愛知県知事賞 形勢小	愛知県知事賞 形勢小

3 18	3 3	2 31	1 29	1 28	1 25	1 15	1 14	1 14	12 24	12 23	12 19	12 7	12 4	12 4	11 26	11 24	11 24	11 20	11 17	11 14	11 14	11 14	11 14	11 14	11 14	11 14	11 14	
小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式	小学校卒業式



●教育最新情報

◆おかげキッズサイエンスセミナー（オンラインVer.）

今年度の新たな取組として、市と連携協定を結んでい
る自然科学研究機構の協力を
得て、「おかげキッズ サイ
エンスセミナー（オンライン
Ver.）」が、年七回（大規模
開催三回、各学校開催四校）
実施された。

十月より先行運用が可能と
なった「SI-NET（学術情
報ネットワーク）」を活用し、
双方向型コミュニケーション
を取り入れた新しい形の出前
授業の導入である。学校現場
に、高速・大容量の通信環境
を生かした体験の場を提供
し、最先端の科学に触れるこ
とを通して、子供たちの科学
に対する興味・関心をおおい
に高める機会となった。

第一回は、十一月九日(火)市
内中学生二二九七名が参加し
て開催された。「切っても切っ
てもプラナリア」と題して、

基礎生物学研究所の阿形清和
所長を講師として、各中学校
と研究所を双方向でつないだ
授業が行われた。

第二回は、十二月七日(火)市
内小学生二七二一名が参加し
て開催された。「脳の中には
リズムがある？」体の中のふ
しぎな話」と題して、生理学
研究所の北城圭一教授を講師
として、脳の神経活動のリズ
ム現象について学ぶ機会と
なった。

第三回は、一月二十五日(火)
市内小中学生約八〇〇名が
参加して開催された。「生命
の材料はどこから来たのか？
（電波で探る宇宙）」と題し
て、自然科学研究機構・国立
天文台アストロバイオロジー
センターと国立天文台野辺山
宇宙電波観測所、そして市内
小中学校をつないだ形で実施
された。講師の日下部展彦特
任専門員（国立天文台アスト
ロバイオロジーセンター）、衣
笠健三特任専門員（野辺山宇
宙電波観測所）から講義を受
け、子供たちは、地球外の未
知の生命体やその発見方法に
ついて思いを巡らせる機会と
なった。

さらに、特別編として、
二月七日には、市内小中学
生約四五〇〇名を対象に、
二〇一九年ノーベル化学賞を

受賞された吉野彰博士による
「リチウムイオン電池が拓く
未来社会」についての講演会
が行われた。

今後様々な教科・領域、
教育活動等において、「岡崎
版GIGAスクール構想」の
環境を最大限に生かした未来
型教育の推進が期待される。



●ハートピアだより

●午後の活動を通して

「今日は、卓球だ。」
毎日、弁当の時間が終わる
と、掲示板の前に集まった子
供たちから元気な声が上が
ります。ハートピアに通って
くる子供たちは、午後の活動の
時間をとても楽しみにしてい
ます。

午後一時からの一時間は、
チーム（またはペア）に分か
れて対戦形式のゲームを行う

ことにしています。チーム（ペ
ア）は、くじ引きを行って職
員と子供が一緒になるように
組みます。屋外ではモルック
やフリスビーゴルフ、ドッジ
ボールなど、屋内では卓球や
ミニソフトテニス、ポッチャ、
カーリング、ボウリングなど。
多くのメニューから、天候や
人数、子供たちの様子を見て、
その日のゲームを選び、掲示
板で発表しています。

卓球と同様に人気があるの
が、フリスビーゴルフです。
決められたコースを、フリス
ビーで目標物をねらいながら
進みます。ねらい通りにフリ
スビーを飛ばすことができた
子には、周囲から
「おお、ナイス。」
などと歓声が上がります。うれ
しそうな顔が見られます。思い
通りの方向に飛ばすことがで
きなかった子も、友達からア
ドバイスを受けたり、毎回あ
きらめることなく取り組むこ
とで腕を上げ、満足げな表情
を見せます。また、中学生が
先に投げて的に近づけておい
てから小学生に投げさせるな
ど、異年齢の組ならではの作
戦を見ることがあります。中
学生にとっては、こうした場
面が、自分の立場を意識した
行動や声掛けにつながってい
ると感じます。

午後の活動は、ただゲーム
を楽しむというだけでなく、
一緒に楽しむことを通して、
円滑な人間関係や子供たちの
社会性を高めていく大切な場
になっています。



●少年自然の家だより

●プラス志向

令和四年度の「山の学習」
は、一泊二日を原則にして各
学校の日程がほぼ決定しま
した。

新型コロナ以前の山の学習
は二泊三日でゆったりと活動
していました。その他の恒例
の学校行事も予定に沿って工
夫し、反省しながら進めてき
ました。その安定感や充実感
は学校教育ならではの醍醐味
であったような気がします。
しかし、新型コロナ拡大に

所長 川口 厚

伴う行事予定の変更や縮小を余儀なくされて三年目となりました。これまでの運営を振り返ると残念なことも多々ありましたが、マイナスばかりではありません。

様々な変更について、学校や先生方は、ある程度予測して素早く的確に対処できるようになったのではないのでしょうか。学校運営の柔軟性が広がったのはプラスとも考えられます。また、行事の新しい形を創るチャンスが広がったとも考えられます。いろんな「もの」や「こと」がコンパクトになって小回りが利くようになったと思います。

その一方で、無駄やゆとりは決して悪いとは思いません。例えば、山の学習などは「無駄」ともいえます。無くてもどうってことはありません。しかし「人として生きる基本」が詰まっています。自分で考え判断し、多くの友と活動し、失敗し、笑い合い、宿泊する。また、自分や友、先生の新しい一面を見つけることは何より貴重な経験となります。学校では味わえないこうした活動を、学校教育として、どうとらえて、どう展開していくかは先生方の力量だと思います。「どんな形であれ、何だつて

無駄ではない」、コロナ以来そう思うことが増えました。



●表彰関係

◆令和三年度全国中学校体育大会 第四十二回全国中学校スケート大会

出場 常磐中 佐村 日菜

◆こども音楽コンクール (文部科学大臣賞選考会)

○中学校合唱部門

二位 六ツ美北中

◆愛知県アンサンブルコンテスト県大会

○打楽器五重奏の部

銀賞 南中

◆第六十七回読書感想文愛知県コンクール

愛知県知事賞

優良賞 梅園小 土井 禅駿

優良賞 男川小 早野 哲史

優良賞 男川小 中園 好誠

優良賞 緑丘小 河合 康希

優良賞 竜美丘小 糟谷 姫奈

優良賞 六名小 平内 柊衣

優良賞 六名小 上蘭 侑馬

優良賞 井田小 朱 琳那

優良賞 生平小 杉山 理彩

優良賞 常磐南小 川瀬 裕大

優良賞 岩津小 加藤 文哉

優良賞 豊富小 鈴木 楓音

優良賞 甲山中 白瀬 桃花

優良賞 竜海中 松井 咲弥

優良賞 岩津中 渡邊ひなた

優良賞 新香山中 杉浦 叶華

優良賞 北中 水谷 優那

◆第三十三回読書感想文愛知県コンクール

優秀賞(全国へ)

連尺小 濱 咲那依

優秀賞(全国へ)

井田小 永田 愛実

優秀賞(全国へ)

六ツ美中 萩原 光希

◆二〇二一年度「はがきでコミュニケーション」全国発表大会

○小学校低学年の部

Cブロック優秀賞

豊富小 松本 侑士

◆第四十九回人権を理解する作品コンクール

○標語の部

入選 矢作南小 佐藤 匠真

入選 城南小 内田 美緒

◆第二十一回全国中学生創造ものづくり教育フェア

○創造アイデアロボットコンテスト

五位 福岡中

本田 拓義 池上 拓真

九位 福岡中

猪又 暁 太田 朝仁

○生徒作品コンクール

優秀賞 六ツ美中 川原愛結那

○技術分野I部門

優秀賞 甲山中 水口 有紗

優秀賞 竜南中 片岡 留寧

優秀賞 矢作北中 吉田 将真

○技術分野II部門

優秀賞 美川中 泉 貴陽

優秀賞 翔南中 名倉 柊弥



教職員の相談窓口

【対象】全教職員 【相談内容】・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

番号	相談窓口	電話番号	相談受付日時
1	岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30
2	岡崎市こころのホットライン	0564-64-7830	月曜日～金曜日 13:00～20:00
3	愛知県総合教育センター教育相談	0561-38-2217	月曜日～金曜日 9:00～17:00
4	あいこころのホットライン 365	052-951-2881	年中無休 9:00～16:30
5	名古屋いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間

・カ
ツ
ト

矢作北小

杉山和泉

がんばり山 (昭和49年)

写真提供：岩津小学校

運動場の東側にあるがんばり山には、いつも子供たちの笑顔が溢れている。写真は、一列に順序よく並び、自分の番を今か今かとわくわくしながら待つ子供たちの様子である。

子供たちが遊ぶ遊具は、昭和四十九年に創立百周年記念事業の一つとして、学区より寄贈していただいたものである。同時期、岩津小学校は主題「活動力のあるからだづくり」という研究に着手した。がんばり山の遊具を生かした活動も研究に取り入れた。そして、昭和五十一年の研究発表で、その成果を市内外に発信した。

子供たちの健やかな成長への願いは、今も変わらない。時代と共に形を変えながら、岡崎市の健康教育は続いている。



突然の訪問にも笑顔で迎えてくれた小野珈琲店のご夫婦。話せば話すほど、珈琲への愛と、店を訪れる人への愛を感じた。そんな小野珈琲店の珈琲だからこそ、飲んだ人が幸せになるのだろう。私たちも小野さんのように、目の前の子供に丁寧な、そして温かく接したい。

とホ

弥生



▲巣立ちの時 (形埜小)

保護者に手を引かれ入学してきた子供たちが巣立とうとしている。大きかったランドセルも、今では随分窮屈そうだ。下級生の手を引く姿に成長を感じ、うれしく思う反面、もつとできることはなかったかと自問する。

子供と共に、日々成長できる教師になりたいと改めて思う。

強く呼びかけ、リードするより、思いを見取り、後押しする教師でありたい。生徒会活動の成功の陰に、支援を大切にされた教師の姿が浮かぶ。

教師の適切な言葉かけを力に、生徒は自ら考え、前進し、達成感を得た。「自分の力でやり遂げた」という経験が、自信につながる。



*自学自習の極意
ポプラ社

齋藤 孝
¥1,600

心に残った一文

学ぶ側に「構え」や「意欲」がなければ、どんな学びも効果が期待できない

著者は、「これからの学問の王道は自学自習である」と述べている。自学自習によって、人生を豊かに生きる思考力や価値観を身につけることは重要である。

学ぶ意欲が高いか低いか、参加意識があるかないかで、将来の学力や教養の差に表れる。本書には、自学自習の効率を高めるコツや楽しむ方法等、継続して根気強く学ぶヒントが書かれている。

何歳になっても好奇心をもち、学び続けることは大切である。新しい発見は生きる力となり、次への力となる。学びの連鎖は人間の器をより大きくする。

*チームが自然に生まれ変わる「らしさ」を極めるリーダーシップ

李 英俊、堀田 創
ダイヤモンド社 ¥1,800

*1分で話せ2【超実践編】
伊藤 羊一
SBクリエイティブ ¥1,400

*二平方メートルの世界で
前田 海音
小学館 ¥1,500

矢作南小学校 稲垣 祐嗣